



トナカイ

H I G A S H I Y A M A

Winter
2020

ひがしやま 55

名古屋市東山動植物園情報誌

アミメキリンの赤ちゃんが生まれました!

2020年10月20日、アミメキリンのマオ(メス)とトリノ(オス)の間にかわいい赤ちゃんが生まれました。赤ちゃんの誕生は2018年以来2年ぶり、マオにとって4回目の出産となりました。前回2018年の仔は非常に小さく生まれ生後1日で残念ながら死亡してしまっしぼうたので、今回の仔は順調に生育し、スタッフ一同ホッとしています。性別はメスと判明しました。

10月20日は本園のスター、アジアゾウのアヌラ(メス)、本園のスター、ニシゴリラのシャバーニ(オス)と同じ誕生日です。この赤ちゃんも皆様から愛されること確実です!

(飼育第一係 内藤 仁美)



10月20日9時のお母さんのマオとメスの赤ちゃん。しっかり起立しています。

Contents

- 00** 動物園トピックス
「アミメキリンの赤ちゃんが生まれました!」
- 01** 動物園長のエッセイ
「丑年にちなみ、口之島牛のこと」
- 02** 飼育レポート
「ポプタメダカの繁殖」
- 04** 飼育だより
- 06** 動物病院日誌 Vol.54
「新年の干支ウシ(科)の歯について
～少し詳しく見てみましょう～」
- 07** 植物園長のエッセイ
「見たことのない果実(ケペルアップル)」
- 08** 植物管理人だより
「食虫植物は怖くない」
「善の門松」
- 09** 東山植物園のレッドリスト植物Vol.19
「ダンギク」
- 10** 植物園
「冬の花だより」
- 11** 植物園トピックス
「環境教育～植物の標本づくり」

表紙/トナカイ

トナカイの「カー」(メス)です。トナカイの角は毎年生え変わりますが、オスとメスでその時期が違います。オスの角はクリスマスまでには抜け落ちてしまっちがますが、メスはクリスマスの時期に立派な角が見られます。(撮影・文/平松 歩美)

東山動物園サポーター募集中!!

動物園サポーター制度は、動物たちが豊かで充実した生活を送ることができるように、飼育環境改善や動物福祉などを資金面からご支援いただくものです。

| | | | | |
|-------------|-------|-------------------------------|---------------------------------|---|
| サポーターの区分と金額 | 個人 | 大人 3,000円以上 中学生以下 1,000円以上 | サポーターの方に動物や東山動物園をもっと知っていただくために… | ① 動植物園情報誌「ひがしやま」をお送りします。(4回) ② サポーターの方を対象にサポーター限定イベントを開催します。 |
| | 法人・団体 | 10,000円以上 | | |

個人10,000円以上、法人・団体50,000円以上で支援いただいたサポーターは、氏名、法人・団体名を園内に掲示することができます。

| | | |
|------|---------------------|--|
| 申込方法 | ① 動物園内で手続きをしていただく場合 | 動物会館図書室で申込書を記入の上、寄付金をお支払いください。 |
| | ② 郵便振込で手続きをしていただく場合 | 振込用紙をお送りしますので、動物園サポーター事務局までご連絡ください。 サポーター事務局 / 公益財団法人東山公園協会 動物会館 TEL052-782-2111(内線340) |

動物園長の エッセイ

うしどし くちのしまうし 丑年にちなみ、口之島牛のこと

来年の干支は丑(うし)。牛はその温順な性質から、肉牛、乳牛、使役牛として酪農や農耕で人々を助けてくれる存在として古くから大切にされてきた動物(家畜)です。子年は新型コロナウイルスの蔓延に“チューい”する自粛の年でしたが、丑年は歩みは遅くとも一步一步前に進み“モーっと”発展する年にしたいですね。今回はその干支にちなんで牛の話題を少々。

当園で見ることのできるウシ科の動物は現在、アメリカバイソン、ニホンカモシカ、口之島牛(家畜)、ヤギ(家畜)、ヒツジ(家畜)の5種になります。家畜はもとは野生動物だったものを人が品種改良を加えて家畜化したものです。鹿児島県トカラ列島の口之島の「口之島牛」はもとは家畜として飼育されていたものが野生化したもので、ヨーロッパの近代品種の遺伝的な影響を受けていません。そのため口之島牛は乳牛のホルスタインと比較すると小柄で、後躯がしまり(腰骨・座骨の幅が狭い)、四肢が短く、その外見的特徴から、平安絵巻にみられる牛車をひく牛に相当するものと考えられています。山口県萩市の沖合約50kmにある見島に生息する「見島牛(みしまうし)」(国の天然記念物)と並ぶ純粋な日本在来牛とされています。

当園の個体は15歳のメスです。家畜の遺伝的な多様性保護の大切さを来園者の方に知っていただく目的で、名古屋大学大学院生命農学研究科農学部から譲り受けました。現在、同大学で飼育していないため貴重な個体になります。まだご覧になっていない方は、この機会にぜひ、日本ゾーン(ふれあい広場)に足をお運び下さい。

(動物園長 黒邊 雅実)



ポプタメダカの繁殖

1 はじめに

メダカの仲間(ダツ目メダカ科魚類)は日本を北限とし、東南アジアと南アジアの淡水から汽水域にのみ生息する魚です。現在は37種類のメダカが確認されていますが、その中で、今回は、世界最大のメダカ、ポプタメダカについて紹介したいと思います。

ポプタメダカは、インドネシアのスラウェシ島ポソ湖にのみ生息し、ポソ湖固有種になります。全長(口の先から尾ビレの先の長さ)は、成魚で15cmにもなり、日本のメダカと同じ仲間とは思えないような容姿をしています。しかし、ダツ目(メダカの他にサヨリ、トビウオ、サンマなどがいます)の特徴である、胴長の体に背ビレと臀ビレが体の後ろの方に位置している点は共通しています。

この“巨大メダカ”ポプタメダカが、世界のメダカ館で初めて安定的に繁殖をし、産卵から孵化、稚魚の成長を見る事ができたため、報告したいと思います。



図:スラウェシ島の位置



図:ポソ湖の位置

2 個体の紹介

世界のメダカ館では、2018年4月にスラウェシ島から導入したオス4個体とメス1個体を飼育しています。導入当時は全長3cmほどの若魚だったため性別はわかりませんでしたが、同年7月にヒレの形に変化が見られ性別が判定できるようになりました。ポプタメダカのオスは、日本のメダカと同様、軟条(魚のひれにあるやわらかいすじ)が伸び背ビレと臀ビレが大きいことで判別できます。



オス



メス

3 産卵

メスが1個体しかいなかったため、水換えや水槽の移動、餌の種類や給餌回数など何事も慎重に飼育を進めました。幸い、全個体がぐんぐん成長し、2018年12月にはメスが初めて産卵をしました。このポプタメダカは日本のメダカとは大きく異なる繁殖方法をとります。日本のメダカを含む多くのメダカでは、メスは産卵後、その日のうちに水草や流木などに卵を付着させます。その卵は孵化までの約10日間、親は関与せず放置です。しかし、ポプタメダカは、メスが産卵後お腹に卵を持ち続け、孵化まで約20日間も守る繁殖方法(腹ビレ保育)をとります。その卵の大きさは卵径2mm、卵数は推定で30~40卵あります。

ただ、初めての産卵から約9ヶ月間、計8回の産卵があったのですが、全てにおいて、無精卵(受精していない卵)が多い、産卵後孵化を待たずに卵が落ちるなどの理由で孵化には至りませんでした。



産卵したメス

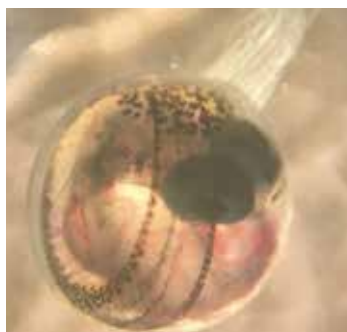
4 飼育環境の改善

産卵が定期的(40日に1回ほど)に行われていたため、メスの体調は良さそうに見えていたのですが、残念ながら稚魚の孵化までに至らなかった原因を2つ考えました。

1つ目は、野生下での餌と飼育下での餌が異なるからではないかという点です。親メダカや卵質の栄養状態は餌に依存することが多いと考えられます。しかし、野生下でのポプタメダカの餌についての情報は皆無です。ただ、野生下では湖の沖合の水深が深くて植物が育ちにくい場所に棲んでいることは明らかだったため、コケやプランクトンなど植物質のものより、エビや小魚など動物質のものを食べているのではないかと推測し、動物質の多い人工餌料やアカムシを多く与えるようにしました。

2つ目は、先述したとおり水深が深く日光の影響が少ない場所に棲んでいるため、水槽の照明が明るすぎるのではないかという点です。ほとんどのメダカの仲間は水面近くから水深1.5mほどまでに棲んでいるため、日光の影響を多く受ける環境です。そのため世界のメダカ館の飼育水槽には1日のうち13時間ほど照明をつけています。それがポプタメダカには明るすぎて、負の要因になり正常な産卵にならないと考え、ポプタメダカ水槽の上部照明を外し、水槽のふたにも黒いカバーをして光を遮るようにしました。

照明を取り除いた直後から、メスが産卵後卵を落とすことが少なくなり、2019年12月から2020年7月まで合計6回の産卵と卵の孵化、稚魚の育成まで成功することとなりました。稚魚の大きさは全長8mm程で大きく、孵化直後からよく餌を食べ成長著しく、日に日に大きくなりました。最初のメス親は老齢のためか7月から産卵が見られなくなり、現在は約30個体の仔メダカたちがぐんぐん大きく成長しているところです。



産卵から14日目の卵



現在の仔メダカたち(全長8cm)

5 展示に向けて

ポプタメダカは、まだ展示水槽で展示したことがありません。バックヤード水槽ではようやく次世代へと命をつなぐ事ができましたが、仔メダカたちが親になり無事にその次へとつなぐ事ができた際には、展示水槽にて皆さんに見ていただこうと思っています。

ポプタメダカは、外来魚や環境悪化の理由で野生下でも生息数が減少している事が明らかであり、将来絶滅の心配があります。世界のメダカ館でこの貴重な命を繋いで、種を守っていきます。みなさんの前で泳ぐ姿を披露できた際には、ぜひ、世界最大のメダカを目の前で観察してみてください。

(飼育第二係3班 田中 理映子)



飼

育

初！

動物園水族館雑誌62巻2号(公益社団法人日本動物園水族館協会発行)に「[短報]ホンダヌキの自然哺育下における新生仔体重と成長に伴う体の変化」と題した論文が掲載されました。

これは、2019年に当園で繁殖したホンダヌキの仔(おわり、みかわ、みの、しま)の授乳期の成長記録になります。ホンダヌキの出生時体重(出生日の仔の体重)と自然哺育(親の哺育)時の仔の成長の記

録は動物園ならではの報告ではないかと思えます。

ホンダヌキなどの身近な動物は今までに多くの報告があるかと思いきや、意外となく、「ならば自分で」といつきで始めました。内容としてはシンプルで簡単なのに、農業高校出身の自分には論文と言う形にまとめて文章を作成し、雑誌に投稿後の査読(第三者の専門家による中身のチェック)を乗り越えるのに、なかなかハードルが高く、共著者の力で何とか掲載まで持っていくことができました。動物園水族館雑誌は動物会館の図書室で閲覧できるので、興味のある方はぜひお立ち寄りください。



飼育第一係1班
加藤 俊紀

激動の中での仔育て

アカカンガルーは昨年5月に新獣舎に移動しました。神経質な個体は当初落ち着きがなく走り回ったりして心配しました。やがて落ち着きましたが、新しい獣舎の周りではアジアの熱帯エリアやレッサーパンダ舎の整備があり、担当として特に工事の音、振動の影響が気になりました。特にすぐ前の園路整備のカッター切り、削り、掘削作業の際は、動物の見守りを強化しましたが、慌てる事なく、たまに少し走った

りする個体があった程度でホットしました。

この大変な最中に仔育てをするコナツ(メス2才)が昨年11月に第1仔を出袋、今年9月に第2仔を出袋し可愛らしい姿を見せてくれました。仔育て奮闘中のコナツ、無事に2頭を育ててくれてありがとう!お疲れさま!



第一仔のカズ(オス)



第二仔のショウ(オス)



飼育第一係2班
猿渡 一

遊びもいろいろ

インドサイのセラとブンタは遊び方もいろいろです。

体をこすって遊んでもらおうと彼らの放飼場に園内で剪定して出た木の幹を立ててみました。どのような反応をするのか楽しみにしつつ、まずブンタから放飼しました。すると少し驚いた様子もありましたが、少しずつ近づき、においをかいで「パクッ」。食べられてしまいました。今度はブンタと入れ替えてセラに試してみました。セラもにおいをかい



ブンタ

だり観察したりして「ドンッ」。体当たりをして幹を簡単に折ってしまいました。その後は折れた枝を角で押して遊んでいました。

セラとブンタはともに新しい物などに対しても興味を持って近づいていく性格ですが遊び方には個性が出ているようです。



折られた木

苦勞して運んできた木。思惑とは違いましたがセラとブンタが楽しんでくれたようによかったです。



飼育第一係3班
前田 悠介

アメリカビーバーの 個体識別

当園で飼育しているアメリカビーバーの体には、個体識別用のマイクロチップが埋め込まれています。ビーバーのように外見での個体識別が難しい動物も、チップに記録された番号を読むことにより、容易に個体を識別することができます。ただし、チップを読み取るにはマイクロチップリーダーをビーバーの体(首のうしろ)に近づけなければなりません。いきなりこの器具を近づけると驚いてしまい、読み取れなくなるため、少しずつ慣らしていくことにしました。

リーダーは他の動物でも使用するため、ビーバー



ダムリーダーを当てているところ



リーダーを当てているところ



左ダムリーダー 右本物

舎に常備しておくわけにはいきません。そこで、馴致トレーニング用にダムのリーダーを手作りしてみました。我ながら驚くほどのクオリティの高いダムリーダーができあがり、さっそくビーバーたちに少しずつ近づけ、においを嗅がせ、そして触らせてみました。段階的に慣らしていったおかげで本物のリーダーを近づけても動じることがなくなり、いつでもチップを読み取ることができるようになりました。

チップの情報と観察から得た外見の特徴を照らし合わせることで、今ではチップを使わなくても個体識別できるようになりました。ハイテク技術と経験に基づいた観察との協働作業です。

飼育第二係1班
澁谷 康



飼育環境を考える

自然動物館2階では爬虫類や両生類の飼育展示をしています。これらの動物はほ乳類と異なり、生きていくための多くの部分を環境に依存しています。たとえば気温(水温)や湿度、他にも紫外線などが彼らの生存には不可欠なのですが、人工的な室内や水槽の中でこれらの要素をそろえていかなくてははいけません。多湿の環境に生息する種には湿度を維持するため植物を配置したり、床面には保水力のあるヤ



シガラチップや焼玉土といった園芸用資材を使ったりなどの工夫を行っています。皮膚や甲羅、骨の健全な成長をうながすために紫外線の出るLEDライト(特注品なのです!)の取り付けもしています。最近では動物のことよりこれらの資材や器具のことばかり考えるようになってしまってい

ます。室内で自然の環境を再現するのは難しいのですが、動物たちが少しでも快適に暮らせる飼育環境を作り上げていければと考えています。

飼育第二係2班
小林 隆志



モルモットたちも 自粛生活チュウ!

「新型コロナウイルス」の報道が出て、モルモット達のふれあいを中止しています。このため春から秋にかけ、運動する機会も減ってしまい体重がどんどん増えてきてしまいました…。標準体重の700g~800g台のモルモット達も900g台になり、1番大きい個体で1000gあります。そこで、これ以上体重が増えないようモルモット舎の前にある草広場を利用して少しずつ外での運動を始めてみることにしました。出したばか



りの時はじっとしていることが多かったのですが、広場に慣れてくると自由に動き出すようになってきました。毎日、外に出してい



るわけではないので運がよければ見られるかもしれないです。赤ちゃんモルモットも生まれたので、その仔達にも会いにふれあい広場に遊びに来て下さい!

ふれあい広場
狩野 水穂



えと 新年の干支 ウシ(科)の歯について ～少し詳しく見てみましょう～

あっという間の1年であったような、また、コロナ禍で何もできなかったのではとも思ってしまいます。でも、ヒトも動物も同じ時間を過ごしてきました。新しい年を迎えるにあたり、気持ちを切り替えていければと思います。

さて、今回は、新年の干支の「丑(うし)」にちなんで、ウシ(科)について、特に皆さんがよく知っている「草を食べる」生活のための歯について、少し詳しくお話ししましょう。

ご存じのように、ウシの仲間には上顎に切歯はなく、その部分は歯肉が角質板として厚く硬く肥厚しています。下顎は犬歯も切歯状を呈して、左右合わせて8本の歯が先端をそろえています(写真1・2)。これらの歯は唇側(表側)のエナメル質が厚く、舌側(裏側)は薄いために、常に先端(切縁)は鋭いです(写真3)。長い舌で草の束を口の中に引き込み、この切縁と角質板ではさんで顎をしゃくり上げると簡単に噛み切れる仕組みです。肉食獣のように栄養価の高い食物に比べて、草食獣は栄養価の低い植物を食するので、体のつくりが各所でうまく植物食に適応しています。その一つに臼歯(小臼歯と大臼歯)があります。その役目として、採食した植物をかみ砕き、すりつぶします(咀嚼)。また、4つの胃を持つ動物の仲間ですから、一旦、胃に入ったものを再び口に返して、臼歯でよく咀嚼したのち、胃に戻り消化吸収されていきます。その臼歯(特に大臼歯)の咬合面を見ると、エナメル質だけでなく、象牙質・セメント質も露出して、硬度の違うそれぞれが交互に入り組んでおり、上下の臼歯で噛み合わせることで、咬合面の凸凹感が増えて、すりつぶし効果を上げています(写真4、図1)。

そこで、疑問を感じる方もみえると思います。ヒトの歯は歯肉より出ているところ(歯冠部)はエナメル質で覆われていて、歯周病などで歯茎が後退して、象牙質が露出すると痛みを感じる(知覚過敏)があります(図2)。象牙質が露出した臼歯を使って採食行動をしているウシ科動物たちはこの痛みをこらえているのでしょうか。この疑問、色々調べてみましたが、明解な回答を見つけることが難しく、歯

の専門家の方にもお聞きしました。動物種ごとの歯の痛みについて、まだまだ研究するところが多々あるようです。痛みを感じる仕組みは、象牙質にある無数の「象牙細管」を通して、囲んでいる歯の神経(歯髄)に伝わります。ウシ科などの臼歯の象牙質が露出した箇所(かしょ)にその感覚系(神経)が到達しているかどうかは不明のため、痛みを感じているのか否か確定できません。ただ、熱心に上下の臼歯列を左右に動かして植物繊維を採食時と反芻時に細かくすりつぶす様子を見ると、およそ痛みを我慢しているようには見えません。どうでしょうか。

最後は曖昧な話になってしまいましたが、動物たちの「痛み」の有無さえ分からないことを考えると、動物と関わる一人としては、今般の状況下で何もできていないと、嘆いている場合ではないとつくづく感じる今日この頃です。

(指導衛生係 中村 彰)



▲ボンゴ(偶蹄目ウシ科)の頭骨 (現在、国内では飼育されていません)



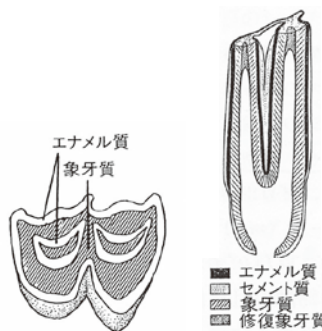
(写真1)



(写真2) 上顎に切歯・犬歯がない



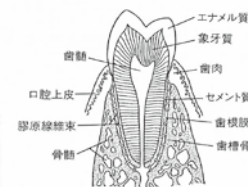
(写真3)



(図1 ウシの大臼歯の咬合面及び断面)



(写真4)



(図2 ヒトの歯の構造)

参考図書「歯の比較解剖学」(医歯薬出版)、「哺乳類の生物学(形態)」(東京大学出版)

【動物取扱業登録】

名称:名古屋市、事業所の名称:名古屋市東山総合公園、事業所の所在地:名古屋市千種区東山元町3-70、動物取扱業の種類:展示、登録番号:第0701027号、登録年月日:2007年6月1日、登録の有効期間の末日:2022年5月31日、動物取扱責任者:黒邊 雅実

見たことのない果物 (ケペルアップル)

写真は2月の^{じようじゆん}月上旬に、インドネシア共和国のジャワ島中部で見かけた植物です。どんな植物か園内の図書で調べようと思ったものの、^{てが}手掛かりがありません。今どきの植物の^{けんさくほうほう}検索方法、スマートフォンで類似の写真が無いか調べて見ましたが、中々みつかりません。何時間か掛けて、ようやくブラホール、ケペル、ケペルフルーツまたはケペルアップルという植物名にたどり着きました。

ケペルアップルは、幹に直接茶色の果実が生る果物で、(幹生果といいます)オレンジ色の果肉はジュシーで、スパイシーなマンゴーのような味がすると説明してあります。バンレイシ科ステレコカルプス属、^{さいばい}産地は東南アジアの植物ですが、インドネシアの中でも中部ジャワでのみ栽培されている^{めづら}珍しい果物です。

ある日の事、これまで自分が貯めていた植物関係の資料を整理していると、ケペルアップルについて書いてある資料があることに気が付きました。現在は休刊しているようですが、「プランタ」という植物関係の^{ざっし}雑誌です。

プランタNo.27「ジャワの植物」によると、ケペルアップルの果実は、^{たまごがた}卵型で茶色、ホウガンノキのように幹にたくさんの実をつけると説明してあります。また、栽培量が少ないため入手が^{むずか}難しく、余程^{さが}こころがけて探さないと食べられないため、見つけたらぜひ試食するようにと書かれています。さらに、この果物は昔、中部ジャワの王家が^{ちんちよう}珍重した^き樹の実で、これを^{たいしゆう}食べると、^{にお}体臭をなくし、小便の臭いをスマレの匂いのようにする^{かそうかいきゆう}ということで、^{こうき}下層階級のものには食べさせなかったと言われるほどのものだったそうです。そんな高貴な果物なら、見つけた時に試食すれば良かったと後悔しています。

植物について調べようと思った時、植物園の本棚には^{ほんだな}大量の植物関係の図書がありますが、その中から必要な情報を効率的に探し出す方法があれば、より^{いっそう}一層、保有する図書が活用できることを実感しました。

(植物園長 谷口 茂弘)



ケペルアップル



ケペルアップルの果実



植物管理人だより

食虫植物は怖くない

「怖い」「気持ち悪い」、食虫植物はあまり良いイメージがないかわいらしい植物です。

なかには「人を襲う」「噛みつく」と思われている方もいるかと思いますが、彼らが自ら何かを襲うことは絶対にしません。じ〜っと辛抱強く待って、虫が自ら近くに寄ってきて触れて初めて捕獲する!のんびり屋で可愛い植物なのです。

温室内の食虫植物コーナーには「ウツボカズラ」を中心に「ハエジゴク」「モウセンゴケ」「サラセニア」「ムシトリスミレ」の5種類を常設展示しています。それぞれ姿カタチは全く違いますが、同じ食虫植物の仲間です。共通することは「虫を捕り込んで栄養にして育つこと。しかも、捕り込み方がそれぞれで全く違うところも



モウセンゴケ



虫を捕らえたモウセンゴケ



ハエジゴク



ハエジゴクの感覚毛、2回触れると閉じます!

独自の進化のポイントさらに独特の姿は、自生地の厳しい生育環境に適應するための進化の証。

最後に、こう見えてどの子もとっても繊細、人の手が触れることを嫌います。観察する時は

「触れないように」じっくり見てあげてください。

指導園芸係
熊崎 貴祥



善の門松

東山動植物園では伝統文化行事として、正月準備に武家屋敷門で“葦の門松”を立てます。武家屋敷門は尾張藩士兼松家の屋敷門を移築したもので、“葦の門松”も450年続く伝統を受け継いでいます。

その門松で用いる“葦(アシ)”ですが、標準的な和名は“ヨシ”(学名: *Phragmites communis*) といいます。“ヨシ”の仲間(ヨシ属: *Phragmites*) はイネ科の大型多年草で、熱帯から温帯に至る世界に3種が広く分布しています。日本国内でも北海道から沖縄まで、いたる所の水湿地に群生し高さは1~3m程です。

門松で使用するものは3mあり、採取には最大高のものを選んでいきます。

“ヨシ”を門松にするのは特異な使い方ですが、古くから日本人は簾(すだれ)や葦簀(よしず)、壁や屋根材などにも利用してきました。アイヌでは若芽を食し、根は漢方にも利用されるようです。こどもの日に食べる“ちまぎ”の葉も“ヨシ”が多く使われるようです。

和名が“アシ”から“ヨシ”に変わった理由ですが、“アシ”という発音が“悪し(アシ)”と同じで、その反対語の“善(ヨシ)”に言い換えられたといわれています。また短くて用途のないものを“アシ(悪)」、長いものを“ヨシ(善)”と使い分けることもあるようです。



東山動植物園では伝統的に“葦(アシ)の門松”と呼んでいますが、最善の“ヨシ”を選んで作る門松は縁起を担ぐ意味でも“善(よし)の門松”なのかもしれませんね。

緑地造園係
市野 実



レッドリストとは、IUCN(国際自然保護連合)が刊行している、世界で絶滅の恐れがある野生生物種のリスト。各国の政府機関や地方自治体等で独自に作成している同様のリストもレッドリストと呼ばれる。日本の環境省レッドリスト2020において、1,790種(維管束植物)が絶滅の恐れのある種として掲載。

ダンギク

分類: シソ科 ダンギク属

学名: *Caryopteris incana* (Thunb. ex Houtt.) Miq.

分布: 日本、朝鮮半島、台湾、中国



VU

2020 環境省
レッドリスト

| | |
|------------------------------------|---------------|
| 絶滅 (EX/EXTINCT) | 絶滅が確認された |
| 野生絶滅 (EW/EXTINCT IN THE WILD) | 野生では絶滅した |
| 絶滅危惧IA類 (CR/CRITICALLY ENDANGERED) | 絶滅寸前の状態にある |
| 絶滅危惧IB類 (EN/ENDANGERED) | 近い将来絶滅する恐れが高い |
| 絶滅危惧II類 (VU/VULNERABLE) | 絶滅の恐れが高い |

ダンギクは、日当たりのよい場所に生える多年草で、高さは30~60cmくらいになります。花期は9~10月、青紫色の花が半球状にかたまつた状態で、茎を取り囲むように多数咲きます。

ダンギクはキク科の植物でなくシソ科 (APGⅢ) の植物ですが (※エングラ体系ではクマツヅラ科に分類されます)、名前に「キク」が入ります。それは、一つ一つの花冠は短い筒を持ち開口部から4本の雄しべと、雌しべが花冠から飛び出ており、この様子が、キク科の筒状だけの花に似ていることからきています。また、茎の周りに段々に咲いているため、開花しているときの姿から「ダンギク」と呼ばれたと考えられます。

日本では九州に分布し、朝鮮半島、台湾、中国に分布します。東山動植物園では、也有園に展示しております。

(植物園 野村 幸央)

新年を迎えるにあたり、年末はあれもこれもやらなければと思い、^{きぜわ}気忙しく動き回り、^{なご}気持ちにゆとりがなくなります。でもそんな時こそ一服して、植物を眺めてください。不思議と気持ちが落ち着きますよ。

それでは、新春に見ごろをむかえる植物を紹介します。

●最初は福寿草です。

旧暦の元旦の頃に花を咲かせることから「元旦草」、「一日草」とも呼ばれています。



【福寿草(フクジュソウ):キンポウゲ科】 見ごろ2月



【尾張侘助(オワリワビスケ):ツバキ科】 見ごろ2月

●次はツバキです。

12月から順次咲き始めます。椿園には214品種、約1000本のツバキが展示されています。

最後は花ではありませんが、クリスマスと関係のある植物です。

欧州では、冬なお緑を保つヤドリギ(正確には変種のセイヨウヤドリギ)を生命の象徴として神聖視してきました。そのため今も人々はクリスマスにヤドリギを飾り、その下で会った相手とキスを交わす風習があります。



【檜葉寄生木(ヒノキバヤドリギ):ビャクダン科】

かんきょうきょういく

環境教育～植物の標本づくり～



動植物園には、小中学校の校外学習や理科の授業などで活用いただいている学習プログラムがあります。

「植物の標本づくり」は、園内から集められた様々な植物を実際に手に取り、形や香り、手ざわりのちがいをたしかめながら、自分だけの標本を作り上げるプログラムです。

10月15日に小学校1、2年生が体験した様子をしょうかい紹介します。



“どれにしようかな”

た～くさんの材料から、色・形・香りなどのとくちょう特徴を確かめながらえらぼう



“台紙はに貼るのはなかなかむずかしい”

バランスよく並べて、植物の名前もならわすれずに書こう



“広い園内からあつめられた標本材料”

標本にした葉や花などが、実際にどんな姿ですがた育っているか、園内でさがして見くらべてみよう

この体験から、よく似ている木の
実や、なにげなく見ていた葉や花
にもいろいろな違いがあり、おやつ
というような香りがあることなどを体
験し、木や草を身近に感じられるよ
うになってもらえたらうれしいです。

東山動植物園 ＊北園＊

大観覧車

名古屋の街を
みわたそう



遊園地

ジェットコースター

風を切って
走る!



●営業時間 10:00～16:50 (のりもの券の発売は16:40まで) 営業時間を変更する場合があります。

| ★アトラクション | 利用料金 | ★アトラクション | 利用料金 | ★アトラクション | 利用料金 | ★アトラクション | 利用料金 |
|------------|------|------------|------|-----------|------|------------|------|
| ☆ミラーハウス | 120円 | ☆モノレール列車 | 240円 | ☆大観覧車 | 360円 | ☆くるくるキリン | 240円 |
| ☆ふしぎたんけんの館 | 240円 | ☆フラワーストーム | 360円 | ☆ハニービー | 240円 | ☆スロープシューター | 360円 |
| ☆メリーゴーランド | 240円 | ☆くまさんコースター | 240円 | ☆ビックリハウス | 240円 | ☆フライングイーグル | 360円 |
| ☆ティーカップ | 240円 | ☆コアラ列車 | 240円 | ☆ニューバイキング | 360円 | ☆ジェットコースター | 360円 |

*1Dayパスポート・お得なチケット及びアトラクションの利用制限等、詳しくはホームページをご覧ください URL :<http://www.higasiyama.jp/>

Café North Garden

カフェ ノース ガーデン



shop North Garden

ショップ ノース ガーデン



●ウサギソフト
¥380(税込)
(¥387)(税込)

●コアラソフト
各¥380(税込)
(各¥387)(税込)

●コアラカレー
¥800(税込)
(¥815)(税込)

●バイソンぬいぐるみ
各¥860(税込)

●ネコ科スライドミラー
各¥500(税込)

●ミニタオル
左 ジャングルキャット
右 ハクトウワシ
各¥440(税込)

ひがしやま 54 号のクイズの答え

Q ホトトギスの花の名前は鳥のホトトギスの何に似ていることからつけられたでしょう。



- ① 胸の模様
- ② 尾羽の模様
- ③ 頭の模様

A 正解は
① 胸の模様
でした。

裏表紙/ウナズキヒメフヨウ <Malvaviscus arboreus Cav.var. mexicanus Schtdl.> (アオイ科)

メキシコ・コロンビア原産。蕾のときは上を向き、花が咲くと下向きになります。花名の由来は、花卉が開かず下向きに咲くことに因みます。

(撮影・文/佐々木 尚美)

ひがしやま
55号 2020 冬

発行所/公益財団法人 東山公園協会
〒464-0803 名古屋市千種区田代町字瓶权1-62
TEL 052-782-2111(内線340)

協力/名古屋市東山総合公園
発行日/令和2年12月23日



ウナズキヒメフヨウ

Winter
2020

H I G A S H I Y A M A

ひがしやま 55

名古屋市東山動植物園情報誌